

いちかわ

市議会だより

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



頌春

平成三十一年 己亥

時代の節目、諸課題解決に不断の決意で取り組む

市議会議長 竹内 清海
市議会副議長 堀越 優

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市の市政運営並びに市議会活動に対し温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

思い返しますと昨年は、西日本に多大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」や、北海道胆振東部や大阪府北部で発生した大きな地震など、全国で災害が相次いだ年でありました。

一方、2月から開かれた平昌オリンピック・パラリンピックにはじまり、サッカーW杯ロシア大会で決勝トーナメント進出を果たした日本代表チーム、テニスの四大大会の一つである全米オープン女子シングルスで日本勢初の優勝を成し遂げた大坂なおみ選手など、世界の舞台で活躍する日本選手の姿は、見ている我々に大きな感動と活力を与えてくれるものでした。

また、市内においては、昨年6月、東京外郭環状道路の千葉区間が、昭和38年に最初の計画が示されてから55年の歳月を経てついに開通したことにより、平成29年に全線開通した都市計画道路3・4・18号と併せ

て、市内南北交通の利便性の向上や渋滞緩和に大きな効果が現れております。こうした基幹道路交通網の変化を本市の更なる発展へのチャンスととらえ、市民生活に豊かな果実をもたらすことが求められます。

さて、本年は平成最後の年であり、5月1日には皇太子殿下が新たな天皇に即位されます。一つの時代の節目を迎える我が国の社会情勢については、経済が引き続き緩やかな回復を示しているものの、地方でそれを実感するにはまだ至っておりません。他方、待機児童問題や社会保障制度改革、頻発する災害への対応などの諸課題や不安要素は引き続き社会に山積しております。加えて、超高齢社会、少子化、格差の問題など、本市を取り巻く状況は今後益々厳しいものになると見込まれます。

これら諸課題の解決のため、我々市議会は、議員一人ひとりがその使命と責任を果たし、日々研鑽して高い見識を養い、不断の決意をもって取り組んでまいります。市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりましてより美りのある飛躍の年となりますよう、衷心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。